

8 題材構造図

<学習前の生徒の意識>

- 店には様々な種類の商品があって、買い物をするときには迷ってしまうことがよくある。
- 買い物の時に、どんなことに気を付けるとよいかよく分からない。
- 買い物に関するトラブルをよく聞くけど、どんなケースが多いのかということと巻き込まれない方法を知りたい。
- 地球温暖化など環境問題は気になるけど、環境を考えた生活の方法について知りたい。

貫く課題

関心・意欲・態度

工夫・創造

技能

知識・理解

題材「めざせ！かしこい消費者」(全9時間)

消費者として持続可能な社会を創る一員となるためにどうするよいだらうか

①消費生活を振り返ろう (2) ア  
自分や家族の消費生活を振り返り、購入するときの工夫や問題点、環境への影響について考えることを通して、これからの学習の課題を見つけることができる。

②消費者としての自覚 (1) イ  
自分や家族の消費生活を振り返り、購入している商品について考えることを通して、契約の仕組みについて理解することができる。

③販売方法のいろいろ (1) イ  
店舗販売と無店舗販売の特徴を考えることを通して、必要に応じて適切な方法で購入することが大切であると理解することができる。

④支払い方法のいろいろ (1) イ  
様々な支払い方法の特徴を考えることを通して、購入する商品や場面によって支払い方法を選択するとよいことが理解できる。

⑤商品の選択と購入 (1) イ  
自転車を選択する視点を考えることを通して、商品の必要な情報を収集・活用し、品質・機能・アフターサービスなどの視点から判断し、商品を選択することができる。

⑥消費者トラブル (1) ア  
消費生活に関わるトラブルやそれを解決する方法を理解することができる。

⑦消費者の権利と責任 (1) ア  
ネットショッピングのトラブルの防止法や対処法を考えることを通して、消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解することができる。

⑧持続可能な社会 (1) ア (2) ア  
消費生活と環境の関わりについて理解し、省エネルギーや循環型社会など環境に配慮した消費生活について理解することができる。

⑨持続可能な社会 (1) ア (2) ア  
家庭での実践を交流することを通して、家庭生活と消費、環境に配慮したよりよい消費生活を工夫することができる。

<学びに向かう力>

- ・いろいろな販売方法や支払い方法が分かった。自分の生活に合わせて利用していきたい。
- ・消費者としての権利や責任も分かった。様々な情報を得て計画的に購入したり、トラブルに巻き込まれたりしないよう行動していきたい。
- ・ゴミを出さない工夫や省エネルギーなど、消費生活と環境の関わりを考えた生活を実践していきたい。